

ツアー番号
LKCDC5XXWQ

スリランカ・ハラール（イスラム教）ツアー（10日間）

10日間・9泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

このテン・デー・ツアーは、スリランカの西海岸、文化三角地帯、中央高地を巡るムスリム向けのルートです。リラックスしたペースで、モスクやイスラム遺産地を訪問しながら、島の主要なハイライトも体験できます。専属のエアコン完備車両とシャフォー・ガイドで移動し、ネゴンボ、シギリヤ、キャンディ、ヌワラエリヤ、コロンボを順番に訪れます。

ネゴンボ・グランド・モスク、マタレのグランド・モスク、キャンディのミーナ・マッカム・モスク、ヌワラエリヤのアル・カビール・グランド・モスク、コロンボのジャミ・ウル・アルファー・モスクなどの礼拝スポットのほか、シギリヤ・ロック・フォートレス、ヒリワドゥーナ近郊の村体験、ミンネリヤ国立公園でのサファリ、セムブワッタ湖、ペラデニヤの王立植物園、ランボダ滝、ヌワラエリヤの植民地時代の街並みと公園ツアーなどが含まれます。各地でゆっくり過ごす時間を大切にしながら、観光地を駆け足で回る必要はありません。

スリランカの文化的・自然的ハイライトを見たいけれど、信仰の実践も旅の一部にしたい、ハラール対応や礼拝時間の手配を自分でする必要がないようにしたい旅行者に最適です。



日程詳細

1日目　空港 → ネゴンボ

コロンボ国際空港に到着後、専属ショーファーガイドがお迎えし、ネゴンボへ移動してチェックインしていただきます。その後、夕方には市内観光へご案内します。

ネゴンボ・グランド・モスク

ネゴンボの夕方の市内観光では、ネゴンボ・グランド・モスクを訪れます。



ネゴンボ漁村

現地では「レラマ」と呼ばれ、オランダ時代の旧門の近くに位置するこの場所は、スリランカで2番目に大きな青空魚市場です。何百もの漁船が水揚げした魚を、卸業者やレストラン経営者が取引し、業者たちが国内各地への配送や輸出のために魚を仕分け、箱詰めしています。小売区域では、客と小規模な魚売りたちが値段交渉をする賑やかな光景が見られます。

AI生成画像・実際の写真ではありません

2日目 ネゴンボ → シーギリヤ

朝食後、シーギリヤへ向かい、チェックインを済ませたら、夕方はシーギリヤ・ロック要塞の見学に出かけます。



シーギリヤ・ロック要塞

この5世紀に築かれた岩の要塞は、カーシャパ王の王都として栄えました。入口はライオンの前足を模した造りになっており、これが「獅子岩」という名の由来です。登る道中では、有名なフレスコ画、急な階段、段々畑式の庭園、今も機能する貯水池、そして王宮跡へと続く洞窟道を見ることができます。

Wrobell · CC BY-SA 3.0

3日目 シーギリヤ → ミンネリヤ → シーギリヤ

この日はシーギリヤ近郊での村体験と、夕方のミンネリヤ国立公園でのサファリを組み合わせた一日となり、その後ホテルへ戻ります。

ヒリワドゥナ村ツアー

伝統的な生活様式が今も残るこの村では、牛車での移動、穏やかな湖でのカタマラン(筏)サファリ、水田を抜ける散策、そして伝統的な料理の実演を体験します。その後、蓮の葉と織物トレイに盛られた手作りの昼食をいただきます。



ミンネリヤ国立公園サファリ

3時間にわたる公園内サファリでは、5月から10月にかけて150頭以上の象が一堂に集まる「グレート・エレファント・ギャザリング」で知られています。公園内には、低木地帯や森林地帯にわたって様々な哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類も生息しています。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

4日目 シーギリヤ → センブワッタ → キャンディ

チェックアウト後、マータレーを経由してキャンディへ向かう道中、モスクの見学、地元コミュニティとの交流、そして湖での休憩を楽しみます。

マータレー・グランド・モスク

マータレーで知られるこのモスクでは、礼拝の様子を見学し、地元の人々と交流します。



センブワッタ湖

マータレー地区のエルカドゥワに位置し、キャンベルズ・レーン森林保護区に隣接するこの人工湖は、天然の湧き水から形成され、その傍らには自然のプールもあります。深さは9メートルから12メートルほどあるとされ、現在はエルカドゥワ・プランテーションズが所有し、近隣住民のための電力発電に利用しています。

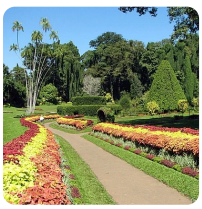
Sivanandhan Dishanthan · CC BY-SA 4.0

5日目 キャンディ → ペラデニヤ → キャンディ

この日はキャンディの町と近郊の植物園を巡り、その後ホテルへ戻ります。

キャンディの町とミーナ・マッカム・モスク

スリランカ最後の王国であったキャンディの町を歩きながら、その歴史に触れ、ミーナ・マッカム・モスクやヒンドゥー寺院、屋台の軽食、花飾り作りの様子を見学し、短いトゥクトゥク(三輪車)に乗る体験もあります。



ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に設立されたこの植物園には、ラン、香辛料、薬用植物を含む4000種以上の植物が植えられています。見どころとしては、砲弾樹(キャノンボールツリー)、揺れる吊り橋、生垣の迷路、そして大きく珍しい木々に囲まれた並木道などがあります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

6日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

チェックアウト後、ヌワラエリヤへの道中、滝に立ち寄ります。



ランボダの滝

スリランカで11番目に高い滝で、プセラワの近くに位置するランボダの滝は、3つの段で構成されています。中段はA5号線沿いの橋付近から見ることができ、上段へは橋の手前の小道を登る必要がありますが、その先には滝とその周辺の広い眺めが待っています。

A.Savin · FAL

7日目 ヌワラエリヤ

この日は高原の町を探索し、モスクの見学や植民地時代の雰囲気が残る通りや公園を歩きます。

アル・カビール・グランド・モスク

ヌワラエリヤの市内観光では、アル・カビール・グランド・モスクを訪れます。

ヌワラエリヤ市内探索

19世紀から20世紀初頭にかけて英国人の避暑地として栄えたこの町には、今もコテージや洋館、邸宅が残っています。赤レンガ造りの古い郵便局で絵葉書を手に入れたり、クイーンズ・ビクトリア・パークやグレゴリー湖のほとりでのんびりと過ごすこともできます。

8日目 ヌワラエリヤ → ピンナワラ → コロンボ

この日は高原地帯からコロンボへと向かう道中、ピンナワラを経由します。

9日目 コロンボ

コロンボ市内観光では、モスクや歴史的建造物、商業地区を巡ります。



ジャミ・ウル・アルファー・モスク(レッド・モスク)

コロンボ最古のモスクの一つであるこの場所は、セイロンが香辛料と絹の交易路の要衝であった7世紀にやって来たアラブ商人たちの名残を今に伝えています。彼らの子孫の多くはコロンボやガッレといった歴史的な港町に定住し、今もその地に暮らしています。

A.Savin · FAL



コロンボ市内観光

このツアーでは、旧灯台、旧国会議事堂、ガッレ・フェイス・ホテル、ガッレ・フェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館といった歴史的な名所を巡るほか、独立記念広場やレース・コース周辺でのショッピングもお楽しみいただけます。

Gihanud2001 · CC0

10日目 コロンボ → 空港

ゆったりとした朝の時間と朝食を終えたら、チェックアウトをして空港まで送迎し、出発便にご搭乗いただきます。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.